

未来新聞

未来を考えたろう

SDGsの優等生



ワットチンブ... 草刈りとは... 草刈りとは「鎌」という道具を使ってアトピーなどを刈り取った。

作られた野菜を食べる事で... 温度は七十度から八十度ある。

コンポストの役割... (炭素)を一つに... 現在地球上の土がよくなるように耳にす

SDGsはブームではなく目標です... 二年前からこの言葉がよく耳にす

マルチとは雑草をはえにくくした... 植物をうるおすのに使われる...



編集後記... ぼくたちはまだまだ自然について... だかからぼくたちの未来を守ろう。

淡路島新聞

生まれかわる土

コンポスト... 地球の土は60年後になくなる... 想像されている...

土を増やす木くず... ウッドチップとは、土に混ぜる木くずのことです。

鉄とマグネシウムの摩擦... 私たちはブライスタイア...

編集後記... 人の手で農業をする楽しさを多くの人に伝えようと思... SDGが思ったよりも...

農業を支える鶏



タネノチカラ... 鶏は移動式の小屋の中にいる...

編集後記... 今回の体験を通して未来の地球を支えるのはぼくたちにか

移動式の小屋... 鶏は移動式の小屋の中にいる...



地球温暖化... 二酸化炭素を減らすことが必要...

編集後記... 人の手で農業をする楽しさを多くの人に伝えようと思...

環境問題に取り組む人たち

体験新聞

地球上の土がなくなる

今六十年後には地球上の土がなくなってしまうと言われている。私たちは土がなくなると生きていけない。食料もなくなってしまう。私たちが食べている食べ物は95%土からできている。私たちが住んでいる家のほとんどは木から作られていてその木はすべて土からできている。今、今着ている服の原料も土から作られていて。たかり前にしてある衣食住がなくなってしまうから。また、二十年后から三十年後にはエネノチカラで再生していかねばならぬ。土を再生していかねばならぬ。大切なことです。タネノチカラで学んだことは、自分たちの手で地球を良くしてやること。



タネノチカラで学んでSDGsに取り組んでいきたいと思った。

感想



僕はタネノチカラで環境を守りたい。大切なことを学んだ。またこの機会があったら、何か機械を使わずに、何かがいいなと思います。

炭路のたまねぎは、9月に種をまいて、成長した苗を12月に田んぼに植え替えます。そこから寒い冬をじっと耐え、成長します。たまねぎに含まれる「ゲルチン」は、アレルギーの原因物質は動脈硬化や予防に効果的。抗酸化作用があり、抗血圧上昇を予防する作用も報告されています。たまねぎの食べている実は葉と葉鞘と呼ばれます。葉鞘は重なり合っています。今回、ぼくたちが収穫した濱田ファームは畑で収穫する予定です。雨が降ると、畑は水たまりになります。

コンポストとは、土を作るためにある。土を作るためには炭素と窒素がいる。ちっ素と炭素の比率は二十五対一で置いておくのが一番土になりやすい。

実は木は土にもなるがも知らない？



炭路GS新聞

SDGsの目標は？ 持続可能なより良い世界を目指す国際的定めた目標。 2030年までに



富田 恭輔

今日、地球上では人間の活動によって、土が失われている。このままのペースで土を使い続けると、60年後には地球から土が消滅してしまう。土がなくなると人間の衣食住が失われてしまうことを表している。この状況を打開するべく、この炭路GSでは、木を細かく削ったチップを土に混ぜることで、土を再生させる。これは、炭素の割合が速く、土を作ることで、出まらぬ金比である。しかもこの割合が、チップの物質が下の理由からチップチップは

コケコ



無農薬、水もあげずに育てるのです。だから、無肥料、水もあげずに育てるのです。無農薬、水もあげずに育てるのです。

SDGsのことについて改めて考えられて良かった。またこれからはSDGsのことを意識していきたいと思いました。

地球の救世主といわれる。 石古屋コーチン。 などは、とても環境に良い鳥だそう。糞が土のよい肥料になるため、とても環境に良い。SDGsに貢献出来る鳥だといえる。

野菜と雑草の違いは？

調査隊の感想

僕たちが研修に行くと、雑草の多い畑で、無肥料、無農薬、水をあげずに育てるのです。雑草の多い畑で、無肥料、無農薬、水をあげずに育てるのです。

普段機械化が進んだ都市では体験することが出来ないので、体感が出来て良かった。SDGsについて多くの事を学べて良かったと思います。